

# 116人 看護の心誓う

## 戸田中央 看護専門学校 厳かに戴帽式

戸田中央医科グループ(戸田市本町、中村隆俊会長)が運営する戸田中央看護専門学校(中村毅校長)の戴帽式が10日、川口総合文化センターで行われ、看護学科24期の1年生116人がナイチンゲールに看護の心を誓った。

パイプオルガンの重厚な音色が響き渡り、厳かで幻想的な雰囲気の中で式は進行。舞台の中央に置かれたナイチンゲール像の前で、学生らは一人一人ナースキャップを戴き、ナイチンゲールの看護の心を受け継ぐキャンドルをともした。

式辞で、中村毅校長は「たった一人の看護師の言葉が、患者の気持ちや未来を変えることがある。患者に寄り添い、心ある看護のできる、人間性豊かな看護師に育ててほしい」とあいさつ。

学生らは「感謝」「邁(まい)進」

ナイチンゲール像の前でナースキャップを戴く学生ら=10日、川口市の川口総合文化センター



「匠(たくみ)」「愛情」をキーワードに、「愛し愛される看護師を目指します」と誓った。

戴帽式は入学から一定期間、看護の基礎を学んだ学生が、看護を職業として選んでいく一つの区切りとして行われる儀式。看護師の資質があると認められた学生に、看護の象徴のナースキャップが与えられる。(中野えみり)